

2014年5月9日

海岸防災林の再生を手がける初のプロジェクトに参画 **「仙台湾セブンの森」植樹活動を実施**

林野庁仙台森林管理署と連携し仙台湾沿岸地区海岸防災林の再生を支援

一般財団法人セブン-イレブン記念財団（東京都千代田区、理事長：山本憲司）は、東日本大震災により被災した仙台湾沿岸地区海岸防災林の再生に向け、セブン-イレブン加盟店と一体になって活動する「**仙台湾セブンの森**」植樹活動を初めて実施いたします。

このたび、林野庁東北森林管理局が「『みどりのきずな』再生プロジェクト」として募集する仙台湾沿岸地区海岸防災林の森林整備活動に参画し、仙台森林管理署と連携して、宮城県名取市下増田台林国有林内の約1haの再生を手がける協定を締結いたしました。

本協定に基づき、農地や居住地等に対する風害・潮害の防備や生活環境の保全や津波発生時の被害軽減を主旨とした植栽から保育までの森林整備活動を、今後継続的に行ってまいります。2014年度は5月10日（土）に対象地で5,000本の抵抗性クロマツの植樹を実施いたします。

セブン-イレブン記念財団は、東日本大震災被災地復興の一助となることを祈念し、セブン-イレブン加盟店、本部社員および、セブン&アイ HLDGS.各社のグループ社員等のボランティア活動として、地方自治体のご協力をいただきながら「**仙台湾セブンの森**」の活動を進めてまいります。

“セブンの森”とは：健全な森づくりに必要な植樹を始め、間伐や下刈り等の森林整備活動を
“セブンの森”として現在、8都道府県10ヶ所で活動中。

～「仙台湾セブンの森」実施概要～

1. 目的 : ①仙台湾沿岸地区海岸防災林の再生
 ②周辺地域の復興
 ③地球温暖化防止に貢献する
 ④生物多様性の維持・保全
2. 実施場所 : 宮城県名取市下増田台林国有林 内 1.03ha
3. 実施日時 : 2014年5月10日（土）
4. 実施内容 : 抵抗性クロマツ5,000本を植樹
5. 参加人数 : セブン&アイ HLDGS. グループ5社 約150名

以 上